

3年	<h1>ギリシャ危機について考えよう</h1>
社会	

年 組 番 名前

☆ギリシャの経済危機がユーロ圏全体に大きな影響を与えた。ギリシャのヨーロッパ連合(EU)加盟以降、何があったのか調べよう。

☆実は、ユーロ発足時から単一通貨には無理があるという指摘があった。それはなぜか調べてみよう。

☆次のことについて、考えてみよう。

1) 日本でもバブル経済があった。なぜギリシャでもバブル経済が起きたのか?

2) ギリシャの経済危機と比べ、日本の財政は大丈夫なのか?

3) パパデモス前首相の内閣には政治家は1人もいなかったというが、これはなぜなのだろう。

コピーを生徒に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

*指導する先生や保護者の皆様へ

単にギリシャ、EUの問題とするのではなく、日本との比較などを通じて、議会制民主主義、資本主義、21世紀型の国家についても考えさせましょう。

ギリシャ新政権

深刻な財政危機にあるギリシャの国会再選挙の結果、財政緊縮派の2党などが連立政権を築き足させた。

Q どうして再選挙になったの?

A 5月の総選挙で、どの政党も国会定数(300)の過半数を取れなかった。憲法に従って、大統領が第1党から第3党まで順に、連立工作による組閣を要請したが、どの党も失敗した。それで国会が解散され、再選挙になったんだ。

Q 世界的に注目されたね。

A ギリシャは欧州連合(EU)などから財政緊縮策を条件に金融支援を受けていたが、5月の総選挙で強硬な反緊縮派の急進左派連合(SYZIZA)が躍進した。もし再選挙でSYRIZAが勝って緊縮策をやめれば、EUの支援が止まる。ギリシャの財政が完全に破綻しユーロ圏離脱の懸念があったんだ。

Q ギリシャがユーロを離脱する影響は?

A ユーロは国際的な信託を失いかねない。ギリシャを皮切りに、債務危機を抱えるスペインやイタリアなど欧州の他の国々に波及すれば、世界経済は深刻な危機に陥ってしまう。

Q 再選挙の結果は?

欧州危機で世界が注目

ワールドQ&A

A 緊縮派の新民主主義党(ND)と左キリシャ社会主義運動(PASOK)の2党が計162議席を獲得し過半数を占めた。これに穏健派小党の民主左派を加えた3党で、連立政権の樹立に成功した。

Q どうして緊縮派が議席を伸ばしたの?

A ユーロを離脱すれば国家破綻すると国民の恐怖心をあおった作戦が奏功した。旧通貨ドラクマに戻れば、激しいインフレーションが起きて経済が大混乱する。再選挙前には銀行預金の引き出しが急増したほどだった。ユーロ離脱で大打撃を受けるよりはましだという消極的な理由から、NDに票が集まったにすぎないとの見方もある。

Q 新政権とEUは今後どうするのかな?

A 新政権はEUなどの金融支援枠組みを維持しつつ、緊縮策の緩和を求めて交渉する方針だ。EU側も2度の選挙で反緊縮派が躍進したことに危機感を抱き、緊縮策の一部緩和を認めるとの見通しもある。耐乏生活への国民の反発は強く、交渉の結果次第では新政権は短命に終わる恐れもある。経済悪化に歯止めはかかっていない。ギリシャの財政破綻やユーロ離脱は、これからの欧州と世界経済にとって大きな心配の種なんだ。

(共同)

ユーロ10年

核心 核心

かつて世界の主要国は金本位制を採用していたが、この制度は1929年に始まった世界恐慌で崩壊した。最近、欧州の単一通貨ユーロは、その金本位制になぞらえられることが多

い。そのものずばりの「ユーロは現代の金本位制か」という論考を発表した米国の経済学者もいる。金本位制では、中央銀行は通貨を一定の比率で金と交換する義務がある。通貨

歴史は再び繰り返すか

供給量は金の保有量と連動し、金融政策の自由はなくなる。これがデフレ圧力となり、恐慌の大きな原因となったという説が有力だ。欧州連合(EU)のユーロ圏17カ国は、金融政策を欧州中央銀行(ECB)に一任している。単一通貨と資本移動の自由を採用する代償として、各国個別の金融政策を放棄している。この点で金本位制との類似性が指摘される。

ある国の景気が悪化したら、通貨は自国通貨を切り下げて輸出を増やすことができる。景気刺激のために金融緩和もできる。しかしユーロ危機の震源地となったギリシャには、それができない。それどころか、EUなどによる支援の条件として緊縮財政を強いられ、景気がさらに悪化する悪循環に陥っている。

金本位制は世界恐慌で欠点を露呈し、維持できなくなった。金本位制から早く離脱した国ほど、恐慌からの回復が早かったことが知られている。

ギリシャで再選挙が行われ、一時はユーロ離脱が現実味を帯びた。スペインの危機も表面化し、ギリシャが離脱すれば、ドミノ倒しが起こる懸念は否定できなかった。欧州の単一通貨には、もともと無理があったとの指摘すらある。2002年1月のユーロの流通開始から10年。歴史は繰り返す、ユーロは金本位制と同じ運命をたどるのだろうか。

ギリシャ危機とは

2009年10月にギリシャの政権が交代した際、旧政権が財政赤字を少なく報告していたことが判明し、これを機に始まった経済危機。ギリシャの経済的な信用が落ち、格付け会社がギリシャ国債の格付けを引き下げたことで、欧州の単一通貨のユーロ安となりユーロ圏全体に影響が広がった。